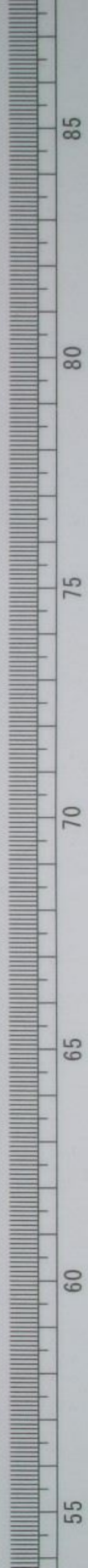


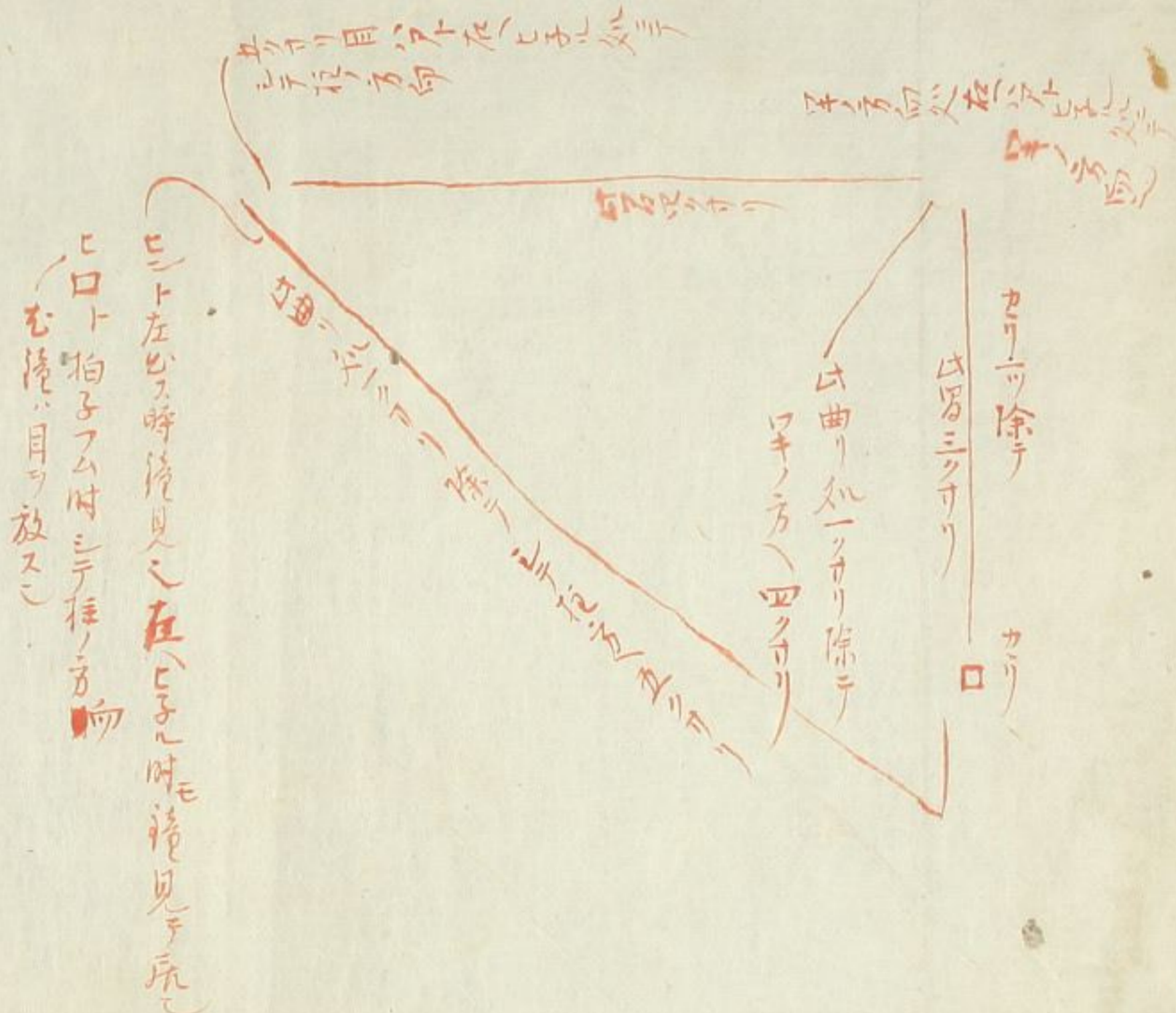
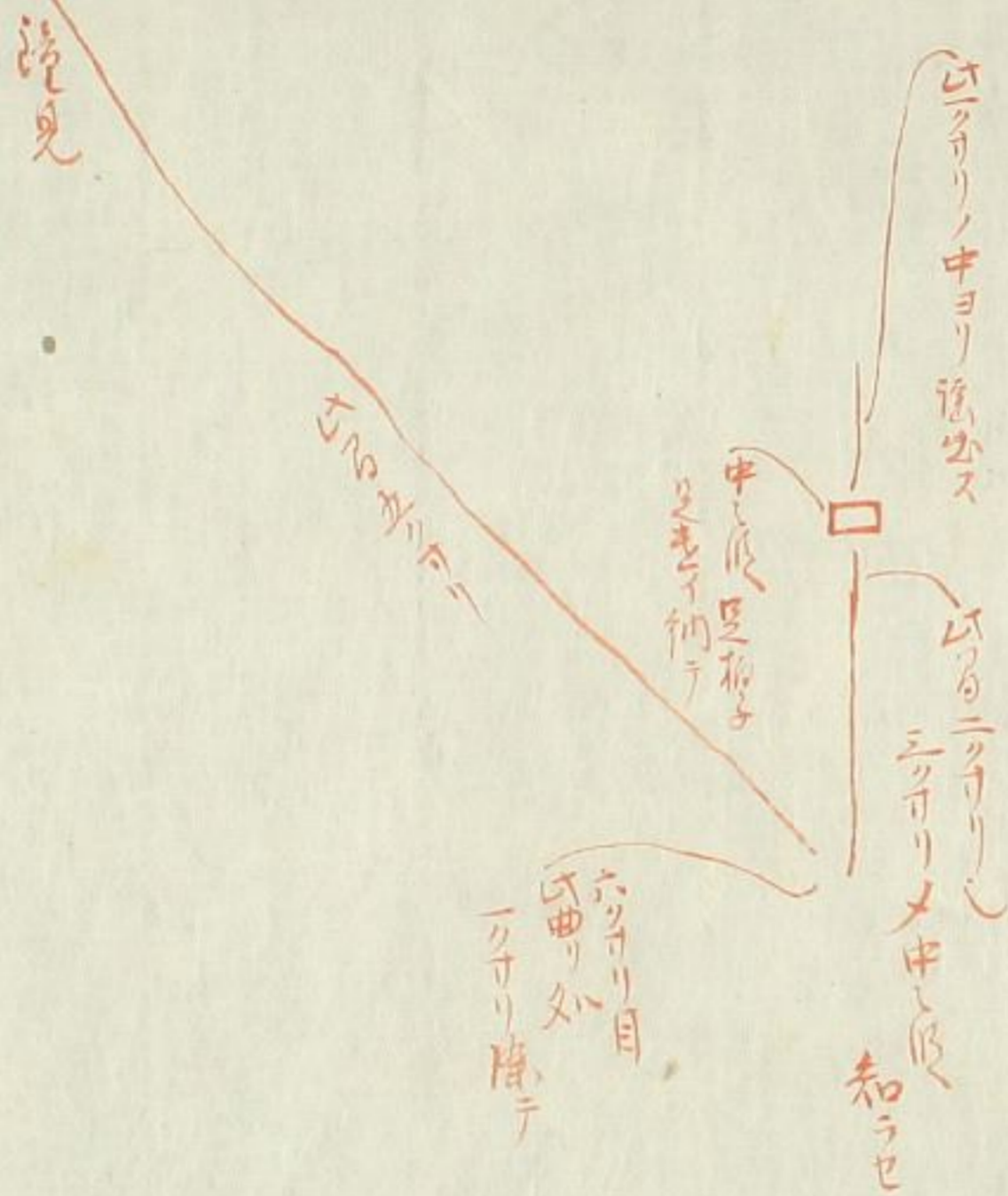


特別
F12
3643
74(2)



道成寺

一急ぎに諒初辰とぬ帯上三巻をた、地味のさへ、
 初辰ノ諒ニツメ、呂ニ取メシ、
 左ニ大ク出リ、
 開梅、
 三股メノ諒ニツメ、呂ワカシ



左、
 右子金紙白羅扇拵
 白大日 水衣 志孝
 扇拵
 膝 上赤 下白
 腰帯 備文 坪打 志孝
 足元



本所
月夜を呼んでおぼせ

出
みち志は程なく月夜の

江村の漁火

以て賑はひよき時

直に... 思へは鐘

恨めやそ

おぼせ

鐘引とぬそ

鐘引とぬそ

叔鐘入テヨリ先

面ハツコハセラバズ

鐘ハ石鏡向極ハ辰ヌナリモハク動ト云時フリ也

鐘ノフリ... 鐘切き出

翔ナル

佐ツキ... 謹請東方

謹請東方

謹請西方

謹請中央

恒海の龍王

あひえん

大地の

祈いの... 又あきあき

翔ニ... 柱巻ノ

カニ...

正面...

恨め...

鐘引...

叔鐘...

面ハツ...

鐘ハ...

鐘ノ...

翔ナル...

佐ツキ...

謹請...

恒海...

祈いの...

平...

又...

赤板テ及サシセカモ
 立橋掛り行
 猛火ト成ル
 花テモ入子也
 鐘
 鐘引繩采シロス
 五二幕
 五二幕
 五二幕

付板ノ長イハ石屋短ッイル物也口キツト下太方下ハ板友
 長イハ尺若安人又葵上イリハ長ッ折也佐モ
 上長後尺底引カ板ト橋掛り行後尺上長
 元板方人



佐也
 鐘寸法 列第記ス 之初入用物書付列有

備列

子

若竹抄借錄

唐紙全地

工日白糸

陽巻 尾花 此道陸名

墨字方

桐箱
志下

練子用

面抄
面抄

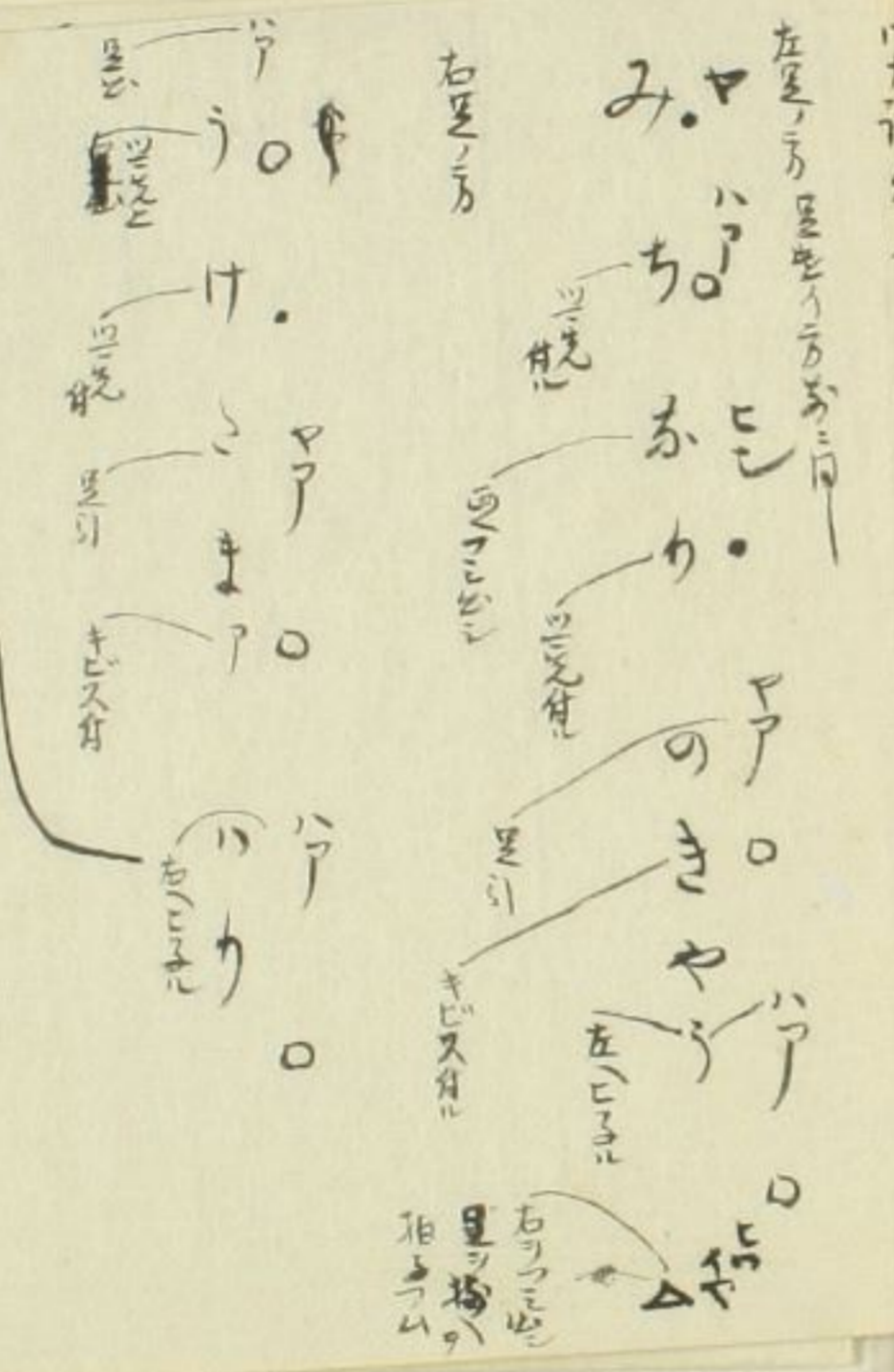
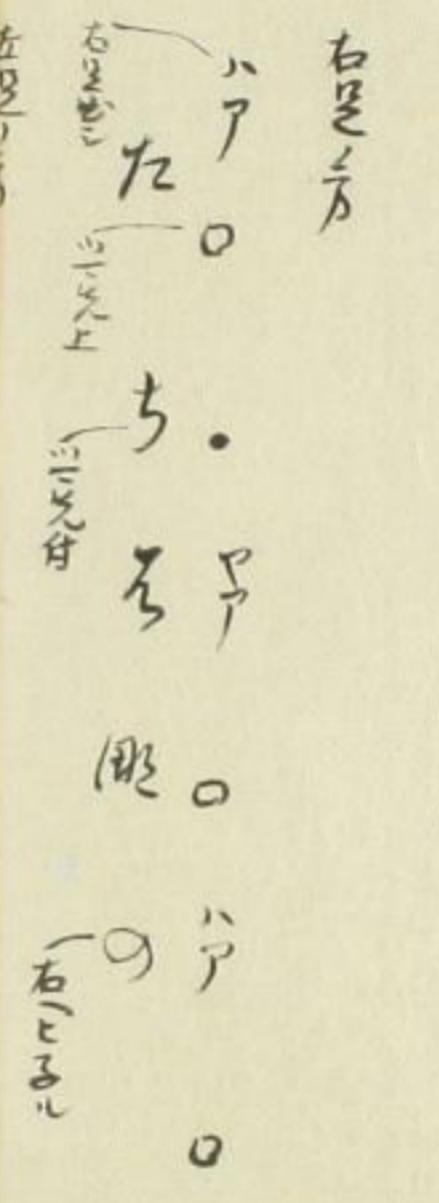
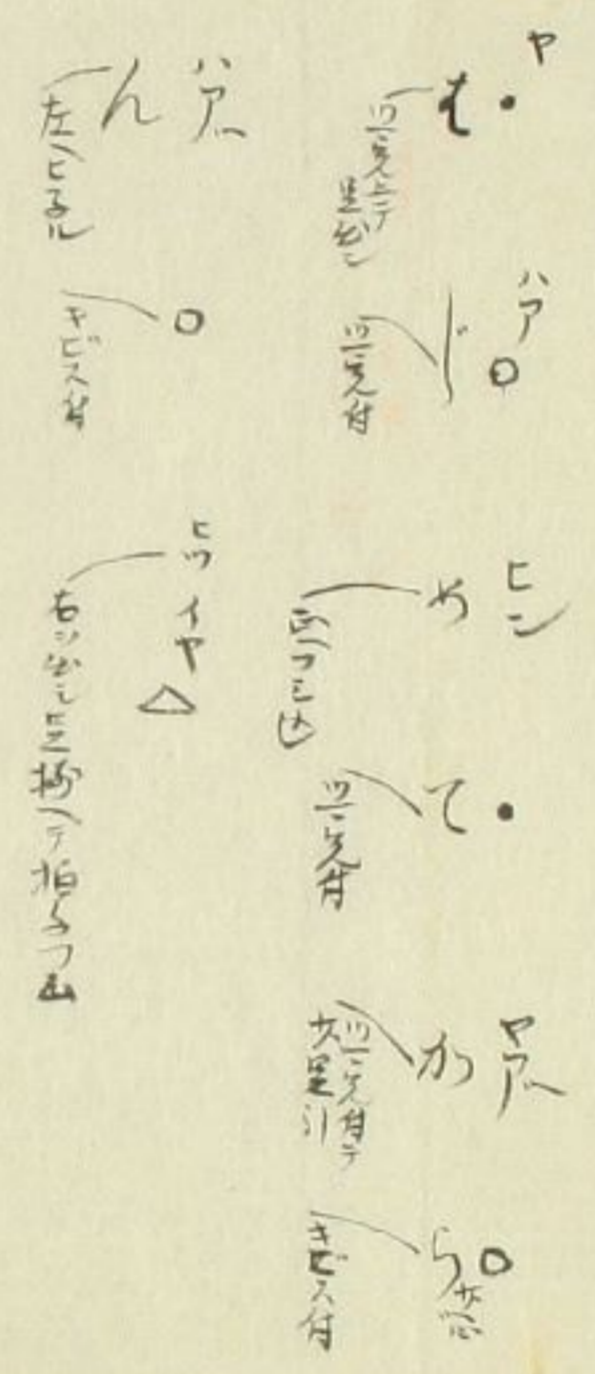
在臥

在臥 尾花 尾花

子秋 三三十四

ノ在

右に柱ノ方向テ拍子楯ニ柱方向ノ丸マニテ
 右足先ノ左足ノ左ニ子ル時竹筒ノ方向テ拍子
 足ドリハ次第ノゴトニ拍子楯竹筒ノ方ノ右足
 左足ヒ子ルトキ右面ノ足トリカノゴトニ
 拍子楯ノ面ノ右足先ノ左足目ヨリ後
 左足ノ方



是ヨリ送ニハリ
 右ヒヨリテ壱ス時目付柱ノ方向キ板左足ノ左
 ヒヨリテ壱ス時キヒテ柱ノ方向ニ柱ノ方ノ向キ
 板左ノ足先ハ付テ右ノ足先上ルルカ向サニ出ルル
 ヒツイマ
 ト右ノ足引付テ区持ハイマト区ニ拍子ツム
 此ノ拍子ノ方ノ向キ又区面ノハクノトキモ
 右ノ拍子
 送ニヨリ
 承リトキ目付柱ノ左足先ノ左ヒヨリテ壱ニ拍子
 ノ方ノ向キ又左足先ノ右ノ方ノ向キカキ
 喜歌トハ一ツサリ決ル日ヨリ

地
右左上下
ひん

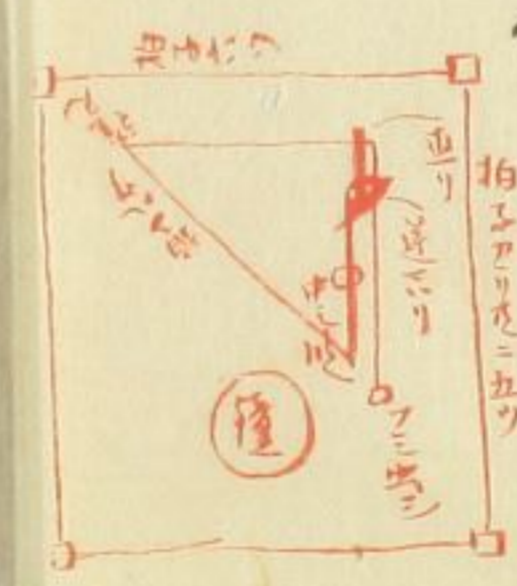
カトコエツニク中付
左足引
三光上ニ光付
一光
二光
三光
左足引ニ光付
右足引ニ光付
ハト左足引テ
庄掃ノ

ヒツ
右足引
右足引ニ光付
テ庄頭上ニ
同ニ拍子ム

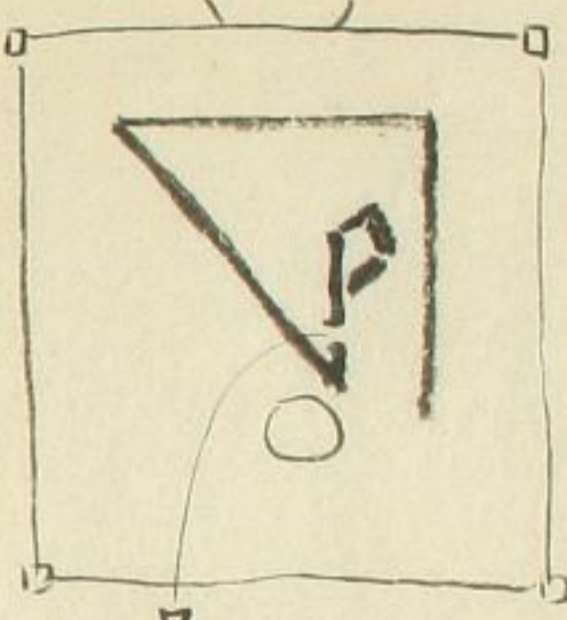
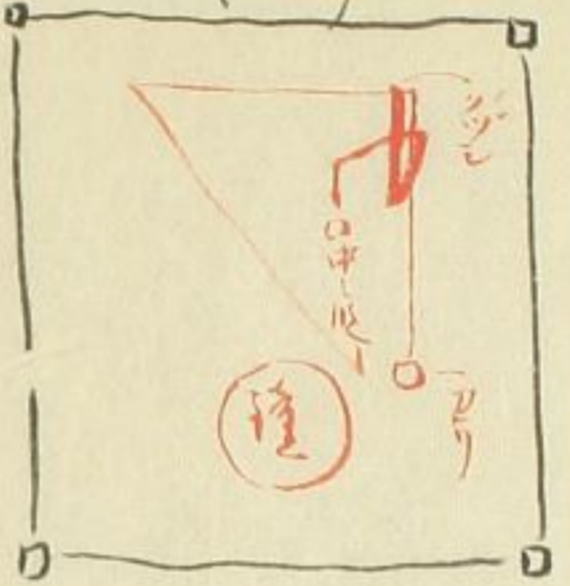
右ノ
ハト左足引テ
庄掃ノ

志
左足引
上ニ光付
右足引
右足引ニ光付
テ庄頭上ニ
同ニ拍子ム

右ノ
ト拍子ム
右ノ
ト拍子ム



朱子
 丁亥歲十一月九日
 西北山與山能居少年
 注唱以動之相



乃亦
 一



